



川口市立医療センター

Kawaguchi Municipal Medical Center

# 医療連携だより

患者支援センター院外広報誌

2018.10月 Vol. 37

〒333-0833 川口市西新井宿180

【発行元】

患者支援センター

TEL 048-287-2525 (代表)

FAX 048-280-2525 (直通)

第15回地域連携推進懇話会  
特集



奥ノ木川口市長

川口市は4月1日をもって中核市へと移行し、川口市保健所開設と時を合わせ医療センターが地域医療支援病院となりました。地域の皆様のご期待に沿えるよう努力して参りたいと思っております。

## 第一部

### ▽挨拶

川口市長 奥ノ木 信夫  
病院事業管理者 大塚 正彦

### ▽来賓あいさつ

川口市医師会会長 鹿嶋 広久会長

### ▽来賓紹介

川口歯科医師会会長 渡辺 幸男会長  
川口薬剤師会会長 梅澤 英臣会長  
蕨戸田市医師会会長 金子 健二会長  
蕨戸田歯科医師会会長 山岡 昌彦会長



## 第二部

- ▽講演1 「患者支援センターの取り組みについて」  
副院長・患者支援センター長 峯川 宏一
- 講演2 「最新型血管撮影装置の導入」  
放射線科部長兼画像センター長 苅込 正人
- 講演3 「脊椎の低侵襲治療」  
整形外科副部長 大島 正史
- 講演4 「高齢者血液腫瘍の治療を考える」  
血液内科部長 矢萩 裕一



峯川副院長



苅込部長



大島副部長



矢萩部長



たくさんのご参加ありがとうございました。

### 第15回地域医療連携懇話会を終えて

7月12日講堂にて、奥ノ木川口市長、川口市医師会鹿嶋会長をはじめ、医療関係の方々の出席のもと地域連携推進懇話会が行われました。

峯川副院長より、4月からスタートした患者支援センターの概要報告および救急紹介ホットラインについての最新の情報提供がありました。

また、苅込放射線科部長からは8月末より稼働予定の最新型血管撮影装置（特に脳・腹部血管疾患領域にて有用）について、大島整形外科副部長からは脊椎の低侵襲治療について、矢萩血液内科部長からは血液疾患の高齢者（80～90歳代）の治療についてそれぞれ講演がありました。

今後とも当院の特徴ある診療について地域の先生方に発信を行って行きたいと思えます。



診療局長兼神経内科部長

荒木 俊彦



短い時間でしたが、  
ご参加の皆様と交流を深めさせていただきました。

# ご挨拶

副院長・患者支援センター長 峯川 宏一

皆さんこんにちは。患者支援センター長の峯川です。

4月に患者支援センターが開設し5カ月が経ちますが、再度、患者支援センターの役割を説明させていただきます。

今年の3月まで、総合相談室と言う名称でありましたが、入退院センター（術前管理担当）を新たに増設し、名前も新たに患者支援センターとしてスタートしました。

患者支援センターは、当院が高度急性期病院としての諸問題を解決するために新設されたものであります。

患者さんは様々な課題や不安を抱えており、それらを色々な縦割りの部署で解決するのではなく、一つの場所で共有し解決する必要がでてきました。患者さんの周りに様々な職種の医療スタッフがいるというイメージです。患者さんにとって病院は非日常の場で決して楽しいところではありません。

患者さんが安心して治療を受け、より快適な生活が送れるよう、種々の専門職が入院の受付から退院の支援まで、一貫して患者さんのためにお手伝いをしていきたいと考えています。

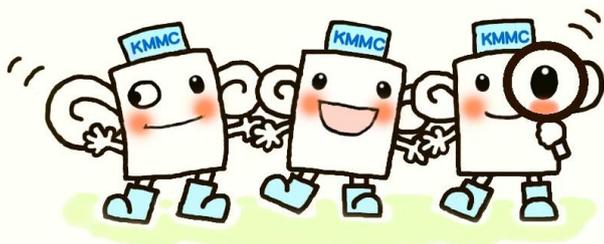
また4月からの新たな業務として、他院からの緊急の受診依頼の受付も開始しています。以前は代表番号（交換手）を通して各科で連絡を受けていたため、時間を要しましたが、現在は救急紹介ホットラインの直通対応をすることで円滑な受け入れに繋がるようになりました。

このように今回は患者支援センターの新しい業務を紹介させていただきましたが、今後も診療がスムーズに運ぶよう様々な問題に対して積極的に関与し、患者さんや地域の先生方から安心し・信頼される医療が提供できるよう努力してまいります。皆様のご支援の程よろしくお願いいたします。



副院長・患者支援センター長

峯川 宏一



**救急紹介ホットライン** ※当日の緊急紹介受診の際はご連絡ください。

TEL: 048-299-7985 (地域連携担当直通)

【受付対応時間】

月～金（休日・年末年始を除く） 8：30～17：15

第1・3・5土曜日 8：30～12：15

# 第15 地域連携推進懇話会 アンケート集計

職種	出席数
医師	35
歯科医師	8
行政	11
その他	82
合計	136

アンケート集計 58名 回収率 41%

## I 本日の情報提供内容はいかがでしたか。

「よかった」内容(複数回答)

「よくなかった」内容(複数回答)

「よかった」内容(複数回答)	回数	「よくなかった」内容(複数回答)	回数
発表がわかりやすかった	34	発表がわかりにくい	4
資料がわかりやすかった	16	資料がわかりにくい	2
新しい知識えられた	38	知っている内容だった	1
時間配分は適切であった	13	時間配分が適切ではない	5
今後の業務に役立てられそう	12	役立たない内容だった	0

## II 本日の懇話会のご感想、ご意見等がございましたらお聞かせください。(ほぼ原文のまま記載しております)

- ・先生方の顔がみれて良かった
- ・血管撮影装置の器械がすばらしいものだとわかるが起動していないので訴えるものが少ない。  
血液内科のは薬剤名も入れてほしかった！(全く理解出来なかった専門的すぎる)
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・いろいろ新しい機械・術式・治療法などが紹介され大変良かったとおもいます。
- ・色々な科の先生の話がきけてよかったです。
- ・医療センターが今後地域の中での立ち位置がわかりました。
- ・ヘルニアopeの進化にびっくりしました。痛みにも苦しむ方にお話したいです。治療にもう少し興味を持とうと思います。
- ・脊椎疾患の方を多くは大学病院または、済生会川口総合病院にご紹介しておりましたが、今後は貴院へご紹介させていただきます。
- ・高度の変形矯正は可能でしょうか？
- ・放射線、血液内容はむずかしかったです。
- ・患者支援センターの説明はわかりやすかった。脊椎の低侵襲治療は画像が多くて分かりやすかった。高齢者血液腫瘍を考えるは英語が多く分かりづらかった。
- ・医療センターが中核となって連携がなされているとすごいわかりました。
- ・今回初めての参加でしたが、近隣である医療センターの取り組みが知れて良かったです。また参加したいと思いました。
- ・年々盛会になると共に新しい知見を多く得ることができ感謝しております。実際の臨床の場において活用でき患者様にとって有用な体勢を築くべき役割を各々しっかりと果たしていければと考えております。
- ・地域医療支援病院の役割と取り組みについて理解することができました。今回超高齢者の治療については興味深く今後の詳細で治療方針は決まる事でした。
- ・具体的な動画もありとても参考になりました。
- ・とても完結にまとめられている、丁度よい。

## III 日頃の地域連携についてお困りのことや、今後の講演内容または医療センターへの意見・ご要望等をお聞かせください。(原文のまま記載しております。)

- ・HOTライン開始したばかりの時は、使用しにくいと感じましたが、ここ最近是非常にスムーズで助かります。
- ・現在の医療センターに新しい機械が入りより、地域医療に貢献していることが理解できた。
- ・もっとたくさんの科の先生の話を知りたいです。
- ・いつも連携担当の方には迅速かつスムーズなご対応をとっていただき大変助かっております。  
毎回ではありませんが、代表電話がつながりにくいことが時々あり緊急時に長いコールが続くことが困っています。
- ・今後も色々お世話になります。
- ・入院適応と思われる患者のひきとり手がないことが多い。整形外科では、手術の必要性には乏しいものの在宅困難な方は(例えば椎体骨折や恥坐骨骨折、神経痛などは、入院設備のない、診療所では対応がとれない。)市立病院や公立病院やそれに準ずる医療機関にお願いしたい処がある。
- ・救命センター以外の救急医療の充実を計ってほしい。
- ・もう少し患者支援センターの取り組みを詳しく聞きたかったです。これからも、地域連携強化していきたいのでまた参加したいです。
- ・いつも無理ばかり申し上げて恐縮しております。又、多数の患者様のご紹介ありがとうございます。  
常日頃より”絶対”に断るな”を徹底させて、病病連携をスムーズに対応してまいりたいと存じます。
- ・今後も定期開催していただき新しい情報を得ていきたいと思っております。

## 第15回地域連携推進懇話会を終えて

第15回地域連携推進懇話会に多数の方々にご出席いただき、ありがとうございました。

当院は、本年4月から地域医療機関からの紹介患者の診療を主とする地域医療支援病院として再出発しました。今回は地域医療支援病院として初めての懇話会でしたので、4月に開設した患者支援センターや、9月に導入する血管造影装置、最新の手術手技、診療を紹介させていただきました。患者支援センターは、従来の総合相談室を大幅に拡充したもので、医療相談の他、入退院業務、紹介患者の受け入れ等を統合して行っています。病院玄関をに入って左側、タリーズの真向かいにあり、約30名の職員が働いています。ご興味のある方はぜひお立ち寄りください。

また、患者支援センター横の壁面には、開放病床の利用について契約いただいた約250の協力医療機関名の一覧を掲示してあります。開放病床の運用にご協力いただける先生で、まだ契約がお済でない先生がおられましたら、患者支援センターの地域連携担当（片岡、高城）までご連絡ください。今後は、より一層の病診・病病の強化のために、担当職員が先生方の所にお伺いする機会が増えると思います。よろしくお願いたします。



副院長・患者支援センター副センター長

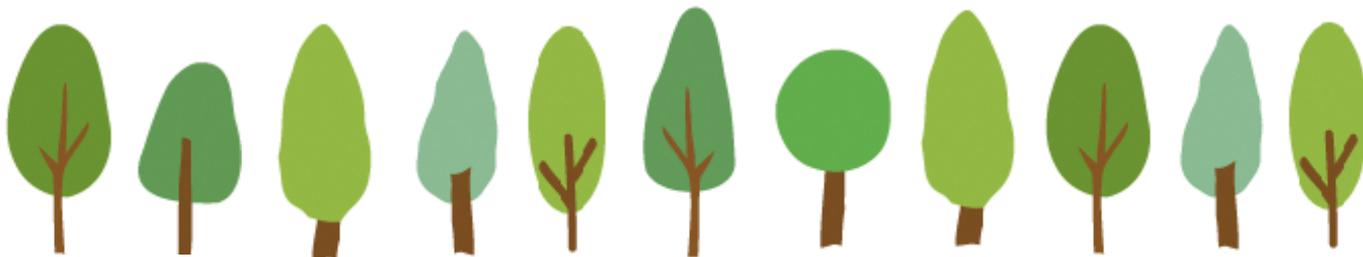
山崎 博之

### Information

## 次回 第16回地域医療連携懇話会について

2019年1月22日（火）19:00～ フレンディアにて開催予定

詳細は後日改めてご報告いたします。



### 編集後記 連携担当より

医療福祉介護の現場で何が問題か、どのようなことが求められているのか、皆様からのご助言をいただきながら今後さらに発展していきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願申し上げます。

発行責任者



川口市立医療センター Kawaguchi Municipal Medical Center

副院長・患者支援センター長 峯川 宏一

TEL: 048-287-2525 (代)

FAX: 048-280-2525

E-mail: 170.05010@city.kawaguchi.lg.jp

ホームページ: <http://kawaguchi-mmc.org>

